

記者発表

平成20年 8月12日
国土交通省 延岡河川国道事務所

扱い	新聞 : 8月12日(火) 同日夕刊以降解禁
	テレビ・ラジオ: 8月12日(火) 午後14時以降解禁

タイトル

平成19年一級河川五ヶ瀬川の水質現況

今回、全国及び九州地方における一級河川の直轄管理区間について、平成19年の水質現況が発表されました。これによると、九州地方20水系26河川評価において、当五ヶ瀬川は、BODベストランキングで3番目にランクされています。(五ヶ瀬川2地点平均)

五ヶ瀬川2地点の平均値では、昨年と同じ、0.6mg/lを示しており、良好な水質を維持しています。過去10年間を見ても良い結果を示していますが、今後も市民一人一人の努力により五ヶ瀬川の水質改善に心掛けましょう。

問い合わせ

国土交通省 延岡河川国道事務所

河川副所長

つかもと たかよし
塚本 剛好

調査第一課長

かい ひろゆき
甲斐 浩幸

電話 0982-31-1155 (代表)

0982-31-1191 (調査第一課)

★同時発表 国土交通本省(河川局河川環境課)
北海道開発局及び各地方整備局

平成19年五ヶ瀬川水系の水質現況

◎BOD平均値からみた河川の水質ランキングで、五ヶ瀬川水系は、九州で3位。

- ・直轄河川管理区間の延長が10km以上で、公共用水域の水質測定計画に位置付けられている調査地点数が2地点以上の26河川について、平成19年に測定された各調査地点のBOD平均値を河川ごとに平均し、順に列記したものを表-1に示す。
- ・五ヶ瀬川水系では、五ヶ瀬川本川が上記対象となり、三輪・松山の2地点の平均値で評価している。

表-1 BOD平均値にみる河川の水質

(単位:mg/L)

順位	河川名 ※は支川を示す。		調査箇所 地点 県名		平成19年			平成18年
					平均値	BOD平均値 の範囲	BOD 75%値	BOD 平均値
1	1	川辺川(球磨川)※	5	熊本県	0.5	0.5 ~ 0.6	0.5	0.5
-	2	巖木川(松浦川)※	3	佐賀県	0.6	0.5 ~ 0.7	0.6	0.5
2	3	小丸川	2	宮崎県	0.6	0.5 ~ 0.7	0.7	0.6
2	3	五ヶ瀬川	2	宮崎県	0.6	0.5 ~ 0.7	0.7	0.6
4	5	本庄川(大淀川)※	3	宮崎県	0.7	0.6 ~ 0.7	0.7	0.6
8	6	番匠川	3	大分県	0.7	0.5 ~ 0.9	0.9	0.8
6	7	球磨川	7	熊本県	0.8	0.7 ~ 0.8	0.9	0.7
10	7	筑後川	12	福岡県 大分県 熊本県	0.8	0.6 ~ 1.6	0.9	0.9
5	9	川内川	7	鹿児島県	0.9	0.6 ~ 1.3	0.9	0.7
10	10	山国川	6	福岡県 大分県	0.9	0.8 ~ 1.0	1.0	0.9
10	10	白川	3	熊本県	0.9	0.8 ~ 0.9	1.0	0.9
10	12	緑川	4	熊本県	1.0	0.6 ~ 1.3	1.1	0.9
10	12	大分川	4	大分県	1.0	0.9 ~ 1.2	1.1	0.9
16	14	犬鳴川(遠賀川)※	2	福岡県	1.0	0.9 ~ 1.1	1.2	1.0
7	15	菊池川	5	熊本県	1.1	0.7 ~ 1.8	0.9	0.8
16	16	矢部川	3	福岡県	1.1	0.9 ~ 1.3	1.2	1.0
18	16	本明川	4	長崎県	1.1	0.8 ~ 1.6	1.2	1.1
15	18	松浦川	4	佐賀県	1.2	0.7 ~ 1.9	1.2	0.9
9	19	大野川	3	大分県	1.3	0.7 ~ 1.8	1.5	0.8
20	20	嘉瀬川	4	佐賀県	1.3	0.7 ~ 2.0	1.7	1.2
22	21	大淀川	7	宮崎県	1.4	0.9 ~ 2.1	1.6	1.3
19	22	牛津川(六角川)※	3	佐賀県	1.6	0.8 ~ 2.9	1.9	1.1
24	23	六角川	4	佐賀県	1.6	0.9 ~ 2.3	2.0	1.6
21	24	彦山川(遠賀川)※	3	福岡県	1.8	0.8 ~ 2.4	1.9	1.3
25	25	肝属川	3	鹿児島県	1.9	1.0 ~ 3.1	2.2	1.9
22	26	遠賀川	5	福岡県	2.0	1.6 ~ 2.5	2.3	1.3
平均					1.1			1.0

※BOD75%値は、年間観測データを良い方から並べて、上から75%目の数字です。

五ヶ瀬川水系の現況

1. 水質調査地点

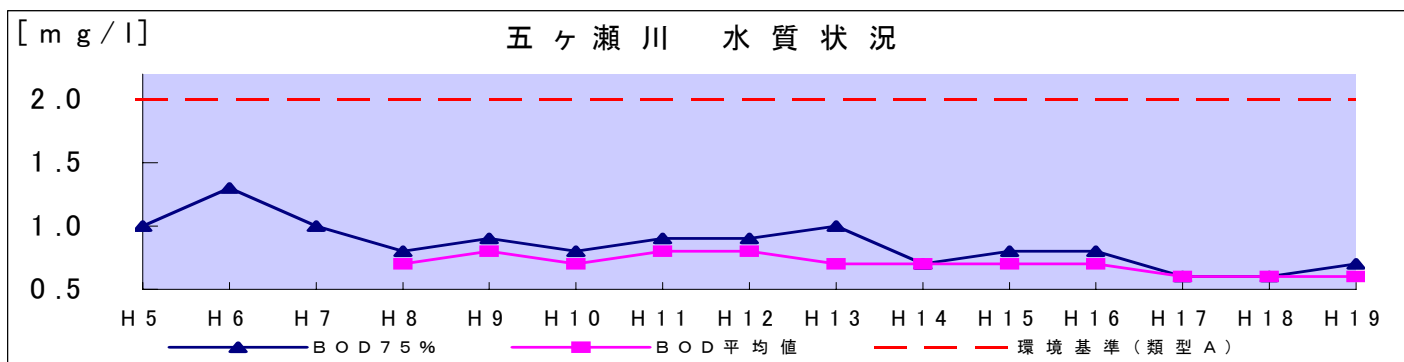
- ・五ヶ瀬川水系では、五ヶ瀬川で2地点（三輪、松山橋）、大瀬川で2地点（大瀬橋、浜砂）、祝子川で1地点（中州合流点）、北川でも1地点（白石）の6地点で月1回水質測定を実施している。

2. 生活環境項目の保全に関する水質現況

- ・水質汚濁に係る環境について、「生活環境の保全に関する基準」のうち、一般的に河川の水質を表すBOD（生物化学的酸素要求量）で示すと次のとおりである。
- ・水質的には、五ヶ瀬川は平成19年BODランキングにおいて、九州で3位（平成18年2位）となっており、良好な状態を保っている。
- ・河川の水質は、下図のとおり昨年と同等の値を示しているが、平成6年から経年的に見ると穏やかな改善傾向にあり、近年の値を見ても良好な水質状態を保っている。
- ・環境基準値を満足した地点は、6地点中6地点（昨年全地点）である。

平成19年 水質現況

	三輪	松山橋	大瀬橋	浜砂	中州合流点	白石
BOD75%	0.5	0.9	0.7	0.6	1.9	0.7
BOD平均値	0.5	0.7	0.6	0.6	1.2	0.7



平成	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	平均
BOD75%	1.0	1.3	1.0	0.8	0.9	0.8	0.9	0.9	1.0	0.7	0.8	0.8	0.6	0.6	0.7	0.85
ランキング	4	7	3	2												
BOD平均値				0.7	0.8	0.7	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.70
ランキング				2	2	4	5	7	5	6	6	4	2	2	3	

地点(三輪、松山橋)

3. 水生生物からみた河川水質の現況

河川の水質保全の必要性や河川愛護の重要性を認識してもらうため、小中学校の参加を得て、昭和60年度から水生生物による水質調査を実施している。

平成19年度は、4地点（三輪、大瀬橋、鹿狩瀬、熊田）を対象に約130名の小中学生の参加を得て、調査を実施した。

調査結果では、全地点（三輪、大瀬橋、鹿狩瀬、熊田）で「きれいな水」と判定され、出現した生物は、カワゲラ、ナガレトビケラ、ヒラタカゲロウ等がいた。「少し汚い水」「汚い水」「大変汚い水」と判定された地点はなかった。

4. 水質事故

平成19年における五ヶ瀬川水系に関連する水質事故は4件発生しており、原因としては車両転落事故等に伴う油流出や工場排水等に起因する水質異常等であった。

なお、事故発生時の対応については、河川管理者と関係機関により構成される「五ヶ瀬川水系水質汚濁防止連絡協議会」により、速やかに情報の収集、通報、連絡等を行い、関係機関の協力のもとに、オイルフェンスの設置等の緊急措置を講じるとともに原因者に対して指導を行う等の対策を実施している。

5. 水質保全に対する取り組み

(1) 五ヶ瀬川水系水質汚濁防止連絡協議会における取り組み

- ・五ヶ瀬川、祝子川、北川の各流域において、水質評価を実施（年3回）
- ・油流出事故に備えた水質事故訓練及び情報伝達演習の実施
- ・水質事故の際の発生源の調査及び指導
- ・リバーフェスタのべおかと共催し、広報活動の実施
- ・五ヶ瀬川流域水生生物調査（小・中学生対象）の実施
- ・河川愛護PRパンフレットの作成及び配布
- ・河川美化看板の設置

(2) 「延岡アースデイ」における取り組み

- ・植樹の実施
- ・クリーン作戦の河川沿いのゴミ拾いの実施により、地域住民に水質保全の啓発

6. 水質データ（速報値）の公表

延岡河川国道事務所ホームページにて、毎月の水質データを公表する。

- ・下記のサイトにおいて、延岡河川国道事務所が調査測定する全調査地点（6地点）について、水質データ（速報値）を公表する。

延岡河川国道事務所HPアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/nobeoka/>

7. まとめ

河川の水質は、過去15年間の経年変化から、良好な水質となっている。

河川の水質は、家庭の雑排水や事業所等の排水に影響されることから、個人、一人一人の努力により、良好な状態を保つことが可能である。

今後とも水郷のべおかの「うるおいのある豊かで美しい水環境」を目指して、努力し、今後更に、清浄な河川となるよう期待し、水質監視や広報活動を実施するものである。

◎水質調査地点位置図

